款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	1	1	教育委員会費	2,518 千円	2,350 千円	344～345

【教育総務課】

○教育委員会　　2,350 千円

■定例教育委員会の開催

令和 7 年度は 12 回開催しました。

委員会では、規則・要綱等の制定・改正、各種委員・審議会委員の任命又は委嘱等計 81 件の議案について審議を行いました。

【定例教育委員会】

■各種研修会への参加及び視察研修の実施

佐世保市で開催された県市町村教育委員会連絡協議会の研修会及び県市町村教育委員会研究大会に参加し、分科会ごとのテーマに沿って情報交換や意見交換を行いました。

また、大村市で開催された九州地区市町村教育委員研修大会に出席し、九州各県の市町村教育委員との情報交換を図るとともに、教育行政の充実・発展に寄与するための資質を高めました。

■教育委員の活動状況

教育委員会や総合教育会議などの各種会議、運動会、学校経営訪問及び各種式典等への参加など、年間で 58 回の活動を行いました。

【島原市教育委員会表彰】

○総合教育会議

・開催日時　令和 7 年 11 月 21 日（金）

・参加者　市長、教育長、教育委員、市職員

・議題

（1）　第 4 期島原市教育振興基本計画（案）について

総合教育会議に出席し、上記議題について市長と協議するとともに意見交換を行いました。

【総合教育会議】

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	1	2	事務局費	395,597 千円	380,943 千円	344～351

【学校教育課】

○北村西望賞教育美術展　　659 千円

名誉市民故北村西望氏を顕彰し、市内小・中学校児童生徒の美術教育振興に資するため、北村西望賞教育美術展（第 47 回目）を開催しました。

平面の部及び立体の部　出品数 248 点

・北村西望賞、奨励賞授賞状況

区分	小　学　校		中　学　校	
	西望賞	奨励賞	西望賞	奨励賞
平面の部	2 人	6 人	1 人	3 人
立体の部	2 人	6 人	1 人	3 人

「ガオー」
馬場　咲來（第五小）

「りっぱな楠の木」
森崎　歩（湯江小）

「漁 船」
牧本　はな（三会中）

「ハナミノカサゴ」
入江　一真（島二小）

「こしが重く光る髙安」
高原　響生（島一小）

「フルートと私」
髙木　美花（島一中）

○小・中学校学力向上対策事業　　7,991 千円

全国学力・学習状況調査（小 6・中 3）及び県学力調査（小 5・中 2）の実施時期に合わせて市学力調査（小 2～4・中 1）を令和 7 年 4 月に実施しました。

また、令和 8 年 1 月にも市学力調査（中 1・中 2）を実施しました。

本事業は児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学力向上に向けての取組の一層の充実を図ったり、習熟度に応じた個別対応を図るために、学力調査を実施しています。

・全国学力・学習状況調査及び県学力調査を実施したことで、全国平均や県平均と市全体また学校別の学力の定着状況を比較し、課題を把握することができました。
・市学力調査については小学校 2 年の国語、算数、小学校 4 年の算数において平均正答率が全国平均を上回ることができました。また、中学校 1 年の数学においても全国平均を上回ることができました。小学校 3 年の国語、算数、4 年の国語、中学校 1 年の国語については、全国平均と同数かわずかに下回る結果となっています。

以上のことから、本市の小・中学生の学力は、期待される一定の学力が身に付いている状況であります。学力向上に向け、全国、県、市の学力調査の結果をもとに数値目標を掲げ、ねらいに即した「書く活動」を重視した授業、補充学習、家庭学習の充実、タブレット端末の活用に学校全体で取り組んだ成果と言えます。

具体的実践事項

・市学力調査実施教科

学年	教科
小 2・小 3・小 4	国語・算数
中 1	国語・数学
中 1・中 2	国語・数学・英語

・島原市学力向上研修会

小学校…年 1 回　中学校…年 2 回

○外国語指導助手招致事業　　34,742 千円

現代社会のグローバル化に対応できる児童生徒の育成を目的に、外国語指導助手（ＡＬＴ）を招致し、中学校では週に 2～3 回、小学校では週に 1～2 回ＡＬＴを活用した授業を実施しました。現在、7 人のＡＬＴを配置しており、小学校 3・4 年生においてもＡＬＴを活用した授業を受けられるようになりました。

また、ＡＬＴを活用した事業として、市内小学校 5・6 年生、中学校 1・2 年生を対象としたユネスコジオパーク島原市イングリッシュキャンプを開催しました。さらに、小学生のイングリッシュ・スピーチコンテスト市内選考会に、審査員として出席し、参加者への助言・賞賛等を行いました。

小学校においては、英語への興味・関心が高まり、中学校においては積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育まれました。

氏名	年数	国籍	時数	配置校	訪問校	訪問校
リ　シショウ Li　Zixiang	3 年目	U.S.A.	15	第一小 (15)		
ピーターセン メアリ　イザベル Petersen　Mary　Isabelle	2 年目	U.S.A.	23	第二小 (12) 火水木	大三東小 (11) 月金	
ロザリング　アレックス　ケント Rothering　Alex　Kent	1 年目	U.S.A.	18	第一中 (12) 月木金	第四小 (6) 火水	
イブラヒム　ファラ　Ibrahim Farah アブドゥルナシル　Abdulnasir	4 年目	U.S.A.	17	第二中 (6) 火木	第三小 (11) 月水金	
アンドリューズ　アイザック Andrews Isaac	5 年目	U.S.A.	18	第三中 (6) 月木	第五小 (12) 火水金	
ブラウン ウェスリー スティーブン Brown Wesley Stephen	1 年目	U.S.A.	19	三会中 (4) 火水木	三会小 (9) 月金	高野小 (6) 木
メガス　ジョン　オースティン Maguss　John　Austin	1 年目		17	有明中 (8) 月水金	湯江小 (9) 火木	

（　）は週あたりの授業時数

○不登校児童生徒適応指導事業　　5,377 千円

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てました。

・適応指導教室「ひまわり教室」　　島原市北門町 130 番地
相談員数　2 人
開室日（時間）毎週月曜日から金曜日までの週 5 日（午前 9 時 30 分～午後 3 時 30 分）
活動内容　①児童生徒に対する支援　　②保護者への支援　　③在籍校への支援

令和 7 年度 不登校児童生徒数	小学校	25 人
	中学校	67 人
	計	92 人

令和 7 年度 ひまわり教室通級者数	小学校	1 人
	中学校	5 人
	計	6 人

・不登校児童生徒数の推移

区　分		H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
小学校	人数（人）	4	4	6	9	18	21	21	25
	割合（%）	0.26	0.17	0.25	0.39	0.78	0.96	0.95	1.17
中学校	人数（人）	25	22	29	35	55	65	55	67
	割合（%）	2.30	1.94	2.75	3.15	4.89	6.12	4.92	5.96
人数計（人）		29	35	26	44	73	86	76	92

（不登校とは、病気・けが等ではなく年間 30 日以上欠席があった児童生徒）

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	2	1	学校管理費	162,326 千円	156,578 千円	350～357

【教育総務課】

○各種施設管理委託料　14,021 千円

校舎監視業務や各種法定管理業務委託等により、施設の維持管理と安全確保に努めました。

○児童見守りシステム運用業務委託料　3,120 千円

児童の安全・安心を確保するシステムとして、令和 4 年度から新たな児童見守りシステムの運用を開始し、既設の端末感知用基地局（71 箇所）の管理及び新入生児童（304 人）への端末配付を行いました。

【業務委託内容】

対象者	市内全小学校の 1・2 年生（特別支援学級と三会小学校長貫分校地区の児童は全学年）722 人
基地局	端末感知用基地局（71 箇所）

○水泳授業補助業務委託料　4,712 千円

令和 7 年度の有明プール利用による授業は、三会小学校、長貫分校、大三東小学校、高野小学校、湯江小学校で実施しました。

○校務支援システム利用料　3,221 千円

教職員の業務負担、長時間労働を軽減し、教育の質を向上させることとして導入した校務支援システムにより働き方改革等の推進を図りました。

○学校管理備品購入費　　5,878 千円

器具の整備を行い、学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】　　（単位：千円）

品　目	学　校　名	金　額
児童用机・椅子	第一小・第二小・第四小	3,251
ホワイトボード､学習ボート	第一小・第二小・第四小・第五小	585
印刷機	第二小	748
パソコン（図書室用）	第四小・第五小	407
視力計	第三小・大三東小	235
草刈機	高野小	218
その他	市内各小学校	434

〇校庭芝生化事業　　272 千円

・事業目的　　児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化を実施しました。第四小学校をモデル校として地元住民が主体となり校庭の低コスト･低管理のエコ芝生化に取り組みました。

・活動場所　　第四小学校運動場

・活動内容　　施肥、芝刈、水やり、除草作業等

【学校教育課】

〇子育て応援新入学児童ランドセル支給事業　　5,173 千円

・事業目的　子ども・子育て応援の一環として、保護者の経済的負担軽減と子どもたちの身体への負担を考慮して、新入学児童（新小学校 1 年生）に対し、ランドセルと同等の通学用かばんを支給しました。

・支給対象者　令和 8 年度に入学する児童全員（該当児童 295 人）

・製品は、重さ 930ｇ未満の「軽量リュック型通学用品」

・保護者が 4 色（レッド・ブラウン・ブルー・ブラック）から選択

・6 月末に発注→1 月下旬に納品→2 月上旬各学校の入学説明会で保護者へ支給

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	2	2	教育振興費	163,530 千円	158,758 千円	356～361

【教育総務課】

○教育振興備品購入費　　353 千円

教育振興のために体育器具等を購入して、学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】　　（単位：千円）

品　目	学　校　名	金　額
バレーボール支柱・ネット、三角鉄棒	第三小・三会小・湯江小	262
大型ディスプレイ	第一小	91

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業（小学校）　1,423 千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施しました。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となりました。

・実施小学校　全９校
・活動場所　　長崎県立千々石少年自然の家　第一小、第三小、第五小、三会小
　　国立諫早青少年自然の家　第二小、第四小、大三東小、高野小、湯江小
・日　　程　　１泊２日　第一小、第二小、第三小、第四小、第五小、三会小、
　　大三東小、高野小、湯江小
・活動内容　　オリエンテーリング、ウォークラリー、ナイトハイキング、野外炊さん、
　　課題解決ラリー、沢歩き、フィールドアスレチック、追跡ハイキング、
　　星空ウォッチング、ボッチャ、イニシアティブゲーム、焼き板づくり等

○学校司書配置事業（小学校）　　11,736 千円

学校図書館の環境整備の充実や、児童の読書活動の推進を図るために全小学校に学校司書を配置しており、その結果、不読者率１％以下を維持する等、図書館教育の充実を図ることができました。

・各小学校に学校司書を１人配置（計９人）
・1 日 6 時間の週 3 日配置

■貸出冊数の推移（児童一人当たりの年間平均貸出冊数）

区分	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
小学校	173.4	181.9	184.5	194.7	191.9	215.0	222.5

■不読者率（1 か月に 1 冊も本を読まなかった者の割合）

区分	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
小学校	0.26%	0.25%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.00%

※ 島原市教育振興基本計画　目標　不読者率１％以下

○学習支援員事業（小学校）　21,526 千円

小学校においては、普通学級に在籍している児童のうち、教育上特別な支援を必要とする児童に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行いました。その結果、支援を必要とする児童一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができました。

また、医療的ケアが必要な児童への支援として、看護師免許を有した医療的ケア児等支援員を小学校に１人配置しました。

・小学校５校に支援員を１人配置、小学校４校に２人配置（計 13 人）
・1 日 5 時間の週 5 日配置

○幼児ことばの教室設置事業　1,210 千円

言葉に障害のある幼児の心身の健やかな成長をめざすため、指導及び相談を行い、障害を改善することができました。

【入退室等の状況】

区分	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
教育相談（件）	35	42	35	33	31	26	33
入室児（人）	25	30	23	27	29	23	19
退室児（人）	17	24	44	40	21	20	15

・第二小に支援員を１人配置
・概ね週４日かつ半日を基本とし相談業務及び学校の実態に応じた業務を行いました。

○指定研究校補助金　672 千円

毎年、小学校の 2～4 校程度（小・中学校で５校）を研究校に指定しています。指定を受けた学校は自校の課題や実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果の発表を行いました。

・1 つのテーマに沿って学校単位で 3 年間研究に取り組むことを通して教師の指導力や授業力の向上を図ることができました。
・学校訪問や研究授業における指導助言を行いました。

令和７年度小学校研究指定校（4 校）

学校名	研究テーマ	指定期間
第三小	主体的に「読んで、分かって、できる」子どもの育成 ～授業改善メソッドの「読解力（RS）」の視点を意識した授業づくりを通して～	R7～R9 年度 1 年目
三会小	ふるさとの魅力を知り、ふるさとへの思いを語れる児童生徒の育成 ～地域の豊かな素材・人材との交流を通して～	R6～R8 年度 2 年目

大三東小	自ら考え、主体的に学ぼうとする大三東っ子の育成 ～算数科における「数学的な見方・考え方」を働かせた授業改善を通して～	R5～R7 年度 3 年目
高野小	主体的に学ぶ児童の育成 ～複式・少人数学級における算数科の指導法の工夫を通して～	R7～R9 年度 1 年目

【教育総務課】

○ＩＣＴ推進事業経費　　74,289 千円

・ＩＣＴ支援員

ＩＣＴ教育にかかる機器類の操作支援や授業支援を目的に、令和７年度はＩＣＴ支援員２人を配置しました。

・フィルタリングソフト

1人1台端末が、インターネット利用時に有害サイト等へアクセスできないようにするためのフィルタリングソフトを購入しました。

・ＧＩＧＡスクールネットワーク管理保守業務委託料

ネットワーク断線の早期復旧や、機器の故障等に対応するため、引き続きネットワークの管理保守を委託しました。

・1 人 1 台端末更新

令和元年に導入した小学生用の 1 人 1 台端末の更新及び予備機確保のため、1,096 台の 1 人 1 台端末を購入しました。

・無線アクセスポイント

令和 8 年度に特別支援学級が 1 教室増加されることに伴い、新たに設置する無線アクセスポイント 1 台を購入しました。

・校務用ＰＣ更新

令和元年等に購入した校務用ＰＣ65 台の更新を行いました。

・学校サーバー更新

耐用年数を経過した学校サーバーのうち、小学校 4 校分を更新しました。

○小学校就学援助経費　　22,347千円

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の援助を行いました。

(児童に対する支給実績)

支給費目	人数	支給総額（円）	一人当たり（円/年）
学用品費等	328	7,959,750	24,267
うち新入学用品費（R7入学後）	(8)	(456,480)	57,060
うち新入学用品費（R8入学前）	(29)	(1,864,700)	64,300
うち学用品費・通学用品費(R8入学前)	(29)	(140,650)	4,850
うち学用品費・通学用品費	(299)	(3,539,860)	11,838
うちオンライン通信費	(299)	(1,958,060)	6,548
修学旅行費	47	1,043,952	22,211
校外活動費	49	146,340	2,986
社会科見学活動費	50	162,010	3,240
医療費	59	307,010	5,203
学校給食費	299	12,728,076	42,568

準要保護世帯の認定状況（小学校）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
認定者数（人）	335	329	303	288	283	287
全児童数（人）	2,278	2,308	2,312	2,273	2,219	2127
認定率（%）	14.71	14.25	13.11	12.67	12.80	13.49

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	2	3	学校整備費	571,898 千円	313,535 千円	360～363

【教育総務課】

○工事請負費　　24,168 千円

緊急度を考慮し計画的に小学校施設の整備充実に努めました。

主な工事請負費内容

学校名	工事名称	金額（千円）
第二小学校	非常放送アンプ取替工事	1,958
第五小学校	放送設備改修工事	3,613
第五小学校	駐車場アスファルト舗装工事	3,946
高野小学校	高圧受変電設備更新工事	12,397

○学校校舎非構造部材の耐震化事業　　215,545 千円

近年の大規模な地震では天井材や外壁など、いわゆる「非構造部材」の落下による被害も発生しており、また災害時における避難場所としての必要な機能が発揮できるよう外壁の耐震対策を行っています。

年次計画で更新を進めており、令和 7 年度は第二小学校の工事を行いました。

学校名	工事名称	金額（千円）
第二小学校	外部改修工事	213,169

○照明設備ＬＥＤ化事業　　60,156 千円

学校施設の照明は、ほとんどが蛍光灯を使用している状況であります。蛍光灯の生産が終了しつつあり交換用部品が入手困難で修理対応ができない状況となっています。

このため、年次計画で更新を進めており、令和 7 年度は第二小学校、第三小学校の照明設備計 1,043 基を更新し、児童の学習環境の整備・充実を図りました。

学校名	工事名称	金額（千円）
第二小学校	照明ＬＥＤ化工事	22,029
第三小学校	照明ＬＥＤ化工事	31,477

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	3	1	学校管理費	72,941 千円	71,850 千円	362～367

【教育総務課】

○各種施設管理委託料　　10,490 千円

校舎監視業務や各種法定管理業務委託等により、施設の維持管理と安全対策に努めました。

○校務支援システム利用料　　1,610 千円

教職員の業務負担、長時間労働を軽減し、教育の質を向上させることとして導入した校務支援システムにより働き方改革等の推進を図りました。

○学校管理備品購入費　　2,862 千円

器具の整備を行い、学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】

品　　名	学　校　名	金額（千円）
生徒用机・椅子	第二中・有明中	1,709
ﾊﾟｿｺﾝ（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ用、図書室用）	第三中・三会中	373
印刷機	第一中	352
視力計	第一中・第二中	240
チェーンソー	第一中	78
その他	市内各中学校	110

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	3	2	教育振興費	118,266 千円	104,238 千円	366～371

【教育総務課】

○教育振興備品購入費　　600 千円

教育振興のために体育器具等を購入して学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】

品　目	学　校　名	金額（千円）
マリンバ	第一中	480
跳び箱	第三中	120

【学校教育課】

○教師用指導書・教科書購入（中学校）　14,766 千円

4 年に 1 度の教科書改訂（中学校）に伴い、令和 6 年度に教科書採択が行われ、令和 7 年度から新しい教科書が中学校で使用されています。

このことにより、各中学校において全教科、教師用指導書とデジタル教科書を購入しました。各学校の必要数を精査し購入しています。

○野外宿泊学習・ジオパーク学習事業（中学校）　1,658 千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うことをねらい計画しました。また、ジオパークについて調べ、火山とともに生活する人々の暮らしや歴史を学習し、自然を守り郷土を愛する心を育てることをねらいの一つとしました。

・実施中学校　5 校　（二中はジオパーク学習のみ実施）
・活動場所　　長崎県立千々石少年自然の家　国立諫早青少年自然の家
・日　　程　　1 泊 2 日
・活動内容　　ジオパーク学習、天体観測、野外炊さん等

○学校司書配置事業（中学校）　6,897 千円

学校図書館の環境整備の充実や、生徒の読書活動の推進を図るために全中学校に学校司書を配置しており、その結果、不読者率 1%以下を維持することができました。また、貸し出し冊数や入室者数、レファレンス（資料の紹介、提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができました。

・各中学校に学校司書を 1 人配置（計 5 人）
・1 日 6 時間の週 3 日配置

■貸出冊数の推移（生徒一人当たりの年間平均貸出冊数）

区分	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
中学校	25.3	29.4	30.1	27.3	28.9	25.4	26.3

■不読者率（1 か月に 1 冊も本を読まなかった者の割合）

区分	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
中学校	0.49%	0.73%	0.25%	0.01%	0.00%	0.06%	0.5%

※ 島原市教育振興基本計画　目標　不読者率 1%以下

○学習支援員事業（中学校）　11,717 千円

中学校において普通学級に在籍している生徒のうち、教育上特別な支援を必要とする生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行いました。その結果、支援を必要とする生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができました。

・中学校 3 校に支援員を 1 人配置、中学校 2 校に支援員を 2 人配置（計 7 人）
・1 日 5 時間の週 5 日配置

○心の教室相談事業　　5,371 千円

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在である「心の教室相談員」を生徒の身近に配置し、生徒や保護者の悩みを聞くなどの相談活動を実施し、生徒がゆとりを持てるような環境を提供しました。

（業務内容）

・生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。

・地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。

・その他、学校教育活動の支援を行います。

（配置数）

・各中学校に１人ずつ配置

（相談延べ人数）　　（単位：人）

区　　分		R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
１年	男	495	78	198	22	163	177	95
	女	465	192	265	139	201	444	390
２年	男	282	353	23	436	20	84	116
	女	117	414	376	314	333	312	978
３年	男	609	165	478	453	425	85	51
	女	330	332	567	590	446	365	245
延べ人数計		2,298	1,534	1,594	1,907	1,588	1,458	1,875

・心の教室相談員等連絡協議会を 2 回開催しました。

○指定研究校補助金　　168 千円

毎年、中学校の 1～3 校程度（小・中学校で 5 校）を研究校に指定しています。指定を受けた学校は、自校の実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表しています。

・1 つのテーマに沿って 3 年間学校単位で研究に取り組むことで教師の指導力や授業力の向上を図ることができました。

・学校訪問や研究授業における指導助言を行いました。

令和 7 年度中学校研究指定校（1 校）

学校名	研究テーマ	指定期間
第三中	ふるさとを知り、ふるさとの未来について考えられる生徒の育成～地域の人材を活用した総合的な学習の時間と地域行事への参加を通して～	R6～R8 年度 2 年目

【教育総務課】

○ＩＣＴ推進事業経費　　23,621 千円

・フィルタリングソフト

1人1台端末が、インターネット利用時に有害サイト等へアクセスできないようにするためのフィルタリングソフトを購入しました。

・ＧＩＧＡスクールネットワーク管理保守業務委託料

ネットワーク断線の早期復旧や、機器の故障等に対応するため、引き続きネットワークの管理保守を委託しました。

・1 人 1 台端末更新

令和元年に導入した中学生用の 1 人 1 台端末の更新及び予備機確保のため、413 台の 1 人 1 台端末を購入しました。

・学校サーバー更新

耐用年数を経過した学校サーバーのうち、中学校 3 校分を更新しました。

○中学校就学援助経費　　23,620 千円

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行いました。

（生徒に対する支給実績）

支給費目	人数	支給総額（円）	一人当たり（円/年）
学用品費等	253	10,074,710	39,820
うち新入学用品費（R6 入学後）	(0)	(0)	0
うち新入学用品費（R7 入学前）	(53)	(4,293,000)	81,000
うち学用品費・通学用品費（R7 入学前）	(48)	(456,000)	9,500
うち学用品費・通学用品費	(200)	(4,069,530)	20,347
うちオンライン通信費	(200)	(1,256,180)	6,280
修学旅行費	58	3,348,746	57,737
校外活動費	48	129,750	2,703
医療費	27	193,250	7,157
学校給食費	198	9,873,256	49,864

準要保護世帯の認定状況（中学校）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
認定者数（人）	181	197	208	206	203	193
全児童数（人）	1,131	1,112	1,127	1,092	1,119	1133
認定率（%）	16.00	17.72	18.46	18.86	18.14	17,03

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	3	3	学校整備費	374,093 千円	148,704 千円	370～373

【教育総務課】

○工事請負費　　39,571 千円

緊急度を考慮し計画的に中学校施設の整備充実に努めました。

主な工事請負費内容

学校名	工事名称	金額（千円）
第二中学校	体育館屋根改修工事	34,120
有明中学校	放送設備改修工事	4,279

○学校施設非構造部材の耐震化事業　　73,342 千円

近年の大規模な地震では天井材や外壁など、いわゆる「非構造部材」の落下による被害も発生しており、また災害時における避難場所としての必要な機能が発揮できるよう外壁の耐震対策を行っています。

年次計画で更新を進めており、令和 7 年度は第二中学校の工事を行いました。

学校名	工事名称	金額（千円）
第二中学校	外部改修工事	70,620

○照明設備ＬＥＤ化事業　　24,492 千円

学校施設の照明は、ほとんどが蛍光灯を使用している状況であります。蛍光灯の生産が終了しつつあり、交換用部品が入手困難で修理対応ができない状況となっています。

このため、年次計画で更新を進めており、令和 7 年度は第二中学校の照明設備 533 基を更新し、生徒の学習環境の整備・充実を図りました。

学校名	工事名称	金額（千円）
第二中学校	照明ＬＥＤ化工事	21,628

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	1	社会教育総務費	63,930 千円	57,640 千円	372～389

【生涯学習課】

○市民文化講座経費　　60 千円

市民の文化に関する教養の向上と興味関心を高めるために開催し、島原の歴史等について学んでいただくことができました。

第 231 回市民文化講座　「大名文庫の雄　肥前島原松平文庫について」	参加者数　65 人
第 232 回市民文化講座　「答礼人形の素晴らしさ ミス長崎・長崎瓊子さんと着物」	参加者数　39 人

○梅林俳句会経費　　15 千円

俳句を通した市民の文化交流を図ることができました。

参加者数	27 人

○市美術展経費　　449 千円

市民の鑑賞と美術活動の場としての交流を図ることができました。

出品者数	211 人
出品点数	374 点
入場者数	998 人

市美術展

○市民音楽祭経費　　388 千円

本市における音楽の普及向上を図ることができ、観衆に感動を届けることができました。

参加団体数	26 団体
入場者数	1,244 人

島原市民音楽祭

〇国民文化祭経費　　2,897 千円

長崎県で初めて開催された国民文化祭「ながさきピース文化祭 2025」（9 月 14 日～11 月 30 日）において、島原市では 5 つの事業を実施しました。

事業名	観客者数	内容
きものの祭典 in 島原 日付：9 月 27 日(土)～28 日(日) 主催：ながさきピース文化祭 2025 島原市実行委員会	1,850 人	島原の伝統的な織物「島原木綿」をはじめとした「きもの」の文化の普及啓発、魅力の発信を目的に 4 つのイベントを開催しました。これらのイベントを通じて、きものを見て、学んで、楽しむことができ、さらに地元に昔から伝わる島原木綿を全国に向け発信しました。
第 43 回島原城薪能 日付：10 月 4 日（土） 主催:島原城薪能振興会	1,000 人	宝生流 20 世宗家宝生和英氏を含むプロの演能者を招き、お祝いの豪華な演目を披露しました。
九州子ども狂言交流舞台 in 島原 響きあう伝統・はぐくむ未来 日付：10 月 4 日（土） 主催：ながさきピース文化祭 2025 島原市実行委員会	300 人	山鹿市や飯塚市で学ぶ狂言教室の子どもたちと交流舞台を行いました。
島原市湧く！沸く！わくわく文化祭 日付：9 月 14 日（日） ～11 月 30 日（日） 主催：ながさきピース文化祭 2025 島原市実行委員会	12,322 人	市内で実施された文化・芸術のイベントや障害者作品展を一体的に情報発信し、地域での文化活動が活発になるように支援しました。主催 10 事業と共催 7 事業を実施しました。
さくらさくら島原城お箏プロジェクト 秋の演奏会 日付：11 月 30 日（日） 主催：株式会社島原観光ビューロー	98 人	島原半島内の小中高生を中心に練習を重ね、ゲストを招き、3 部構成で合計 10 曲を披露しました。

きものの祭典 in 島原

九州子ども狂言交流舞台

【文化財課】

○文化財経費　　15,472 千円

指定文化財の保護と活用、肥前島原松平文庫の公開、修復、蔵書検索システムの更新、マイクロフィルム化等を行いました。

・文化財数　国指定 6　国登録 38　県指定 10　市指定 77

・肥前島原松平文庫　来庫者数　176 人　マイクロ撮影数　　5,153 コマ

・市指定文化財である「三ノ丸御殿仲之御居間座敷」の部材等を害虫から守る為に、埋蔵文化財収蔵庫内部で燻蒸処理を行い、殺虫及び害虫の発生を防止。

・地域の文化財への関心を高めるため、「しまばらんお宝彩八見（安中地区文化財巡り）」の開催　参加者　31 人

「三ノ丸御殿仲之御居間座敷」の部材等
燻蒸処理：埋蔵文化財収蔵庫（有明町）

しまばらんお宝彩八見（安中地区）

○旧島原藩薬園跡整備事業費　　4,906 千円

薬草や薬木の植え替え整備を行うとともに除草等による維持管理に努めました。また、薬園跡の薬草教室を 1 回実施しました。

・旧島原藩薬園跡　　入場者　676 人

・薬草教室（だいだいマーマレード作り）　参加者　14 人

旧島原藩薬園跡全景

薬草教室（だいだいマーマレード作り）

○埋蔵文化財範囲確認調査事業経費　　1,273 千円

開発行為等対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行いました。また、令和 5 年度実施分の『範囲確認調査結果報告書』を刊行しました。

・埋蔵文化財発掘調査
3 遺跡（東空閑城跡、釘崎城跡、丸尾城跡）

東空閑城跡発掘調査

範囲確認調査結果報告書

○史跡島原城跡国指定記念シンポジウム　　2,650 千円

島原城跡を研究している有識者や文化庁調査官等を交えて、見学会や講演・パネルディスカッションを行い、島原城跡の価値や魅力を市内外に発信しました。

・史跡島原城跡 国指定記念シンポジウム「超絶　島原城」
①島原城跡　現地見学会（9 時～11 時）　　参加人数　　60 人
②シンポジウム（12 時 40 分～17 時）　　入場者数　　400 人

島原城跡　現地見学会

シンポジウム

シンポジウム

○島原城跡三ノ丸御殿保存活用事業　　6,604 千円

将来的に復元できるよう三ノ丸の一角に実在した建物である「島原城三ノ丸御殿仲之御居間座敷」の建物調査を実施し、その調査報告をもとに解体工事を行いました。

赤で囲った部分が江戸時代のもの

【生涯学習課】

○公民館学級運営費　　1,482 千円

市民のニーズに応じた各種講座・学級を開設し、自ら学ぶ生涯学習の意欲を高めました。

・三会公民館学級運営費　266 千円
・森岳公民館学級運営費　188 千円
・白山公民館学級運営費　236 千円
・有明公民館学級運営費　279 千円
・杉谷公民館学級運営費　184 千円
・霊丘公民館学級運営費　165 千円
・安中公民館学級運営費　164 千円

学級名	学級数	実施回数	参加人員（延べ）
青年教室	1学級	3回	358人
女性学級	9学級	73回	1,081人
家庭教育学級	7学級	36回	3,045人
高齢者学級	7学級	62回	1,130人
公民館自主講座	38学級	54回	719人
合計	63学級	227回	6,333人

〇放課後子ども教室推進事業経費　　2,970 千円

・スクールキッズ

夏休み中に公民館において開設し、生活リズムの定着化と自学の習慣化を図りました。

7 月 21 日～8 月 1 日（各 4 日間）全 7 地区

公民館

参加人員 延べ 802 人

夏休みスクールキッズ

・放課後子ども学習室

市内全小・中学校において開設し、自学の習慣化を図りました。

4 月～3 月（長期休業中を除く）

実施日数　延べ　1,776 日

参加人員　延べ 33,638 人

・夏休み稽古館

対象は小学生であり、初級コース、中級コース各全 8 回実施しました。

内容は論語の素読、古典の音読と暗唱を行い、古典文学に親しむことができました。

参加者数　延べ 111 人

〇通学合宿支援事業経費　　54 千円

通学合宿は、小学校区単位で 3 年生から 6 年生までを対象として、2 泊 3 日（森岳）及び 3 泊 4 日（霊丘）の生活体験を公民館等で実施し、たくましく生きる力を育む事業です。

〇子ども読書活動推進事業費　　18 千円

第四次島原市子ども読書活動推進計画の取組として、図書ボランティア養成講座、学校図書館向け講座、子育て講座等を実施しました。

〇二十歳の集い経費　　336 千円

故郷しまばら二十歳の集い

人生の節目である二十歳を迎えられた方をお祝いするため、20 歳前後の若い方たちが主体となって「故郷しまばら二十歳の集い」式典を開催しました。

・開催日　令和 8 年 1 月 3 日（土）

・式典対象者　446 人

・出席者　　311 人

○少年センター運営経費　　5,137 千円

少年犯罪・非行等の未然防止のために補導活動、相談活動、環境浄化活動を実施しました。

※令和 7 年度実績

街頭補導巡回件数　138 回（参加員数　469 名）

補導件数 2 件、相談件数 2 件、白ポスト回収 69 点

少年センター補導委員会

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	2	公民館費	115,485 千円	111,202 千円	388～403

【生涯学習課】

○公民館運営費　　61,706 千円

公民館の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行いました。

（令和 7 年度公民館利用状況）

区分	公民館事業		各種団体		趣味・サークル		官公署他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
有明	73	2,289	194	3,725	1,157	7,671	273	11,965	1,697	25,650
三会	36	1,250	214	3,321	467	3,285	207	7,036	924	14,892
杉谷	40	1,033	171	4,142	830	7,638	320	9,935	1,361	22,748
森岳	74	2,181	378	6,312	1,406	11,656	225	5,509	2,083	25,658
霊丘	38	837	259	4,257	841	7,828	191	5,653	1,329	18,575
白山	33	648	201	3,839	846	9,434	122	6,787	1,202	20,708
安中	36	780	171	2,841	298	2,214	135	5,321	640	11,156
計	330	9,018	1,588	28,437	5,845	49,726	1,473	52,206	9,236	139,387

（各公民館の主な整備）

（有明）・浄化槽放流ポンプ取替、避難誘導灯取替

（杉谷）・講義室空調機、1 階系統空調機

（霊丘）・揚水ポンプ用制御部品取替、大ホール南側カーテン、玄関ドア取替

（白山）・大ホール舞台幕取替　など

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	3	図書館運営費	74,113 千円	73,954 千円	402～405

【生涯学習課】

○図書館運営経費　　73,955 千円

島原図書館、有明図書館は、指定管理者として、一般財団法人　島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託しました。

（再掲）図書館指定管理料　　64,364 千円

・島原図書館

開館日数	289 日	登録者数	55,787 人
利用者数	27,927 人	貸出冊数	142,123 冊
視聴覚資料貸出点数	1,744 点	蔵書数	134,866 冊
自主事業	おはなしのじかん、夏休み工作教室、手作り講座、読書感想画展等を実施。		

・有明図書館

開館日数	288 日	登録者数	55,787 人
利用者数	10,525 人	貸出冊数	61,897 冊
視聴覚資料貸出点数	1,053 点	蔵書数	86,163 冊
自主事業	おはなしポケット、手作り講座、子供向け講座等を実施。		

※登録者数については、両図書館共通の貸出カードを交付するため同数となっています。

※蔵書数には、視聴覚資料を含みます。

長 新太 原画展「ばけたらふうせん」

春のおはなし会

（施設整備）

島原図書館……ファンコイル洗浄作業、通路照明器具撤去及び照明ボックス修繕、
湧水排水ポンプ取替など

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	4	文化会館運営費	91,302 千円	91,222 千円	404～405

【生涯学習課】

○文化振興経費　　91,222 千円

島原文化会館、有明文化会館は、指定管理者として、一般財団法人　島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託しました。

（再掲）島原文化会館　指定管理料　　43,256 千円

開館日数	315 日
利用人数	69,990 人
利用回数	836 回
自主事業	映画上映会、スプリングコンサート、しまばら音フェス、スターダストレビューコンサート、アニソンファイタジックコンサートなど

（再掲）有明文化会館　指定管理料　　38,304 千円

開館日数	307 日
利用人数	33,168 人
利用回数	1,392 回
自主事業	夏まつり、前川清ファミリーコンサート、映画上映会、親子でできるビィラティス、楽しく歌おう！カラオケまつりなど

（施設の整備）

・島原文化会館…汚水槽制御盤修繕、火災受信機取替修繕、中ホール雨漏修繕、
大ホールモニターカメラ修繕　など

・有明文化会館…会議室空調修繕、非常用予備発電装置起動用蓄電池用触媒栓更新取替、消防設備等不具合修繕、照明器具交換（ＬＥＤ化）、楽屋室内機切り離し修繕など

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	5	1	保健体育総務費	45,666 千円	41,185 千円	404～409

【学校教育課】

○学校体育の質的向上と部活動の充実費　　12,602 千円

本市児童生徒の体力向上に向け、競技力向上（特にジュニア層）を図るため、教員の質向上と優秀指導者の確保および体育環境の充実を図りました。

・部活動消耗器材費　453 千円
・部活動充実費　228 千円
・部活動運営費補助金　1,071 千円
・長崎県中学校総合体育大会選手派遣費補助金　5,176 千円
・島原市中学校体育大会補助金　1,410 千円
・中学校総合体育大会九州・全国大会派遣費補助金　4,264 千円

○児童生徒及び教職員の各種健康診断の実施　　5,185 千円

島原市立小･中学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に則り、児童生徒及び教職員の各種健康診断を実施しました。

・児童・生徒検診（結核、心臓、尿）　2,343 千円
・教職員検診（胃、結核、血液、心電図、聴力、腎臓、尿）　2,790 千円
・教職員健康ストレスチェック事業　52 千円

○フッ化物洗口推進事業　　471 千円

う歯予防及び低減に向けて、全小・中学校においてフッ化物洗口を実施しました。

・消耗品費（洗口用紙コップ代他）　138 千円
・医薬材料費（洗口用薬剤代）　333 千円

（実施率）H27 年度開始時　30%

年度	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実施率	100%	100%	100%	92%	100%	100%	100%

※R4 はコロナウイルス感染症予防のため 1 校未実施

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	5	2	スポーツ振興費	1,330,399 千円	1,293,597 千円	408～419

【スポーツ課】

○平成新山島原学生駅伝　　17,151 千円

冬の一大スポーツイベントとして定着している平成新山を冠とする大会として、島原の魅力・情報を発信することで交流人口の拡大と地域の活性化に努めました。

＜参加チーム数＞

男子	女子	合計
23 チーム	13 チーム	36 チーム

○スポーツ大会　　233 千円

競技人口の拡大や市民の健康増進を図るとともに、地域の親睦を深めることを目的に、各種大会を開催しました。

＜開催実績＞

大会	期日	対象	参加者数
市民親睦サッカー大会	5 月 11 日（日）	一般	211 人
市民親睦ソフトバレーボール大会	7 月 20 日（日）	一般	89 人
市民親睦ソフトボール大会	8 月 3 日（日）	一般	134 人
少年軟式野球大会	10 月 18 日（土）	中学生	60 人
市民親睦テニス大会	11 月 30 日（日）	高校生・一般	28 人
少年ソフトボール大会	12 月 13 日（土）	小学生	100 人
市民親睦卓球大会	2 月 15 日（日）	小・中・高・一般	108 人
合計	7 回		730 人

○島原市民スポーツ祭　　2,841 千円

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため島原市民スポーツ祭を開催しました。

＜開催実績＞

区分	期日	参加者数
市民スポーツ祭大運動会	10 月 12 日（日）	3,500 人
市民スポーツ祭各種競技会（19 競技）	10 月　5 日（日） ※一部競技は別日程	1,425 人
合　　計		4,925 人

○有馬スポーツ賞　　399 千円

全国大会出場など、スポーツ大会で優秀な成績を収めた小・中学生を表彰しました。

＜受賞者数＞

区分	小学校	中学校	合計
個人	9 人	22 人	31 人
団体	1 団体	9 団体	10 団体

○「夢の教室」事業　　5,223 千円

小学 5 年生及び中学 2 年生を対象に、日本サッカー協会が派遣するスポーツ選手等を「夢先生」として講師に迎え、実体験に基づく講義や実技指導をとおして「夢を持つことの大切さ」や「仲間と協力することの大切さ」を学ぶ機会を設け、子どもたちに夢を持つことのすばらしさを伝えることで、心の教育の充実を図りました。

〈開催実績〉

開催校	学級数	夢先生の人数
14 校 （小学校 9 校・中学校 5 校）	27 クラス （小学校 16 クラス・中学校 11 クラス）	13 人

6 月 17 日（火）	6 月 17 日（火）	6 月 18 日（水）
一小	二小	三会小
湯田　友美 （陸上）	太田　吉彰 （サッカー）	田中　祥兵 （そり）
6 月 18 日（水）	6 月 19 日（木）	6 月 19 日（木）
三小	一中	五小
小林　功基 （サッカー）	杉本　一樹 （空手）	紀氏　隆秀 （サッカー）

6 月 20 日（金）	6 月 20 日（金）	7 月 1 日（火）
一中	三中	二中
ハチマキ （キックボクシング）	前田　誠一 （ハンドボール）	佐藤　悠介 （サッカー）
7 月 1 日（火）	7 月 2 日（水）	7 月 3 日（木）
有明中	四小・三会中	湯江小
銘苅　淳 （ハンドボール）	梅田　翼 （フットサル）	忽那　健太 （ラグビー）
7 月 2 日（水）・3 日（木）		
高野小・大三東小		
越本　隆志 （ボクシング）		

〇国際スポーツ交流事業　　423 千円

ラグビーワールドカップトンガ代表チームやドイツパラリンピック陸上競技選手団、スイス剣道ナショナルチームなどの島原キャンプの経験を生かし、スポーツを通した国際交流や地域活性化を図りました。

令和 7 年度蘇州大学剣道部訪日文化交流団島原キャンプ

〇施設管理の状況

施設名称	運営経費	運営経費のうち指定管理料	指定管理者
島原復興アリーナほか周辺施設	96,869 千円	66,380 千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	・アリーナ感謝祭　・ヨガ教室　・スポーツフェスタ ・サマーフェスタ　・スケートボードスクール　・己書教室 ・大人のための運動教室　・復興応援チャリティコンサート ・ピックルボール体験会　・サッカーコートライン引きサービス	
	施設整備	メインアリーナ加圧給水ポンプ更新工事、サブアリーナ床リコーティング工事、メインアリーナ発電機修繕、メインアリーナ中央監視盤自動制御機器修繕、研修室棚修繕、ターフスプレイヤー購入、トップドレッサー購入、ソドカッター購入、ショットクロック購入（30,489 千円）	
陸上競技場ほか周辺施設	28,204 千円	26,206 千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	・ジュニア陸上教室　・ジュニアマラソン教室　・無料開放デー ・キッズサッカー教室　・ウォーキング＆筋トレ教室 ・星空ソフトテニス教室　・サッカーコートライン引きサービス	

<table>
<tr><td>陸上競技場ほか周辺施設</td><td>施設整備</td><td colspan="3">陸上競技場電気計時計測装置保守点検、陸上競技場非常放送設備修繕、市営球場スコアボード修繕、市営球場ブルペンブロック塀塗装修繕、市営球場ピッチャープレート・ホームベース購入
（1,998 千円）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">霊丘公園体育館・弓道場ほか周辺施設</td><td colspan="2">32,854 千円</td><td>31,109 千円</td><td>（一財）島原市教育文化振興事業団</td></tr>
<tr><td>主な自主事業</td><td colspan="3">・バレーボール教室　・卓球教室　・１００円開放デー
・元気いっぱい！かけっこ教室　・初心者弓道教室
・親子空手教室　・会議室とくとくキャンペーン
・冷房おトクに使っちゃおっ　・ひんやりエアコンデー</td></tr>
<tr><td>施設整備</td><td colspan="3">霊丘公園体育館バスケットゴール板取替修繕、霊丘公園体育館防球ネットワイヤー取替修繕・霊丘公園体育館山側階段照明 LED 化修繕（1,745 千円）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">有明プール</td><td colspan="2">27,228 千円</td><td>25,193 千円</td><td>（株）しまばらウェルネッサンス</td></tr>
<tr><td>主な自主事業</td><td colspan="3">・幼児水泳教室　・夏休み水泳教室　・保育園健康水泳教室
・学童保育水泳教室</td></tr>
<tr><td>施設整備</td><td colspan="3">空調設備取替修繕、ボイラー部品取替修繕、更衣室エアコン用電源回路修繕、プールカバーシート購入（2,035 千円）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">平成町人工芝グラウンド</td><td colspan="2">19,217 千円</td><td>15,476 千円</td><td>（一社）長崎県サッカー協会</td></tr>
<tr><td>主な自主事業</td><td colspan="3">・島原ＨＡＨＡＨＡサッカーフェスタ
・山田耕介氏スポーツ交流会・講習会</td></tr>
<tr><td>施設整備</td><td colspan="3">スタンド裏休憩所屋根設置修繕、海側コート水道設置修繕、
山側コート人工芝メンテナンス、スタンド裏休憩所用ベンチ購入、
ゴールネット購入（3,741 千円）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">温水プール</td><td colspan="2">20,333 千円</td><td>18,550 千円</td><td>（株）協栄</td></tr>
<tr><td>主な自主事業</td><td colspan="3">・子どもの水泳教室（幼児対象）
・子どもの水泳教室（小学生対象）</td></tr>
<tr><td>施設整備</td><td colspan="3">電気料金、水道料金、自家用電気工作物保安管理業務（1,783 千円）</td></tr>
</table>

○島原市温水プール新築工事　　1,005,628千円

市民の健康増進及びスポーツの振興を図るため並びに市内小学校の水泳授業を行うため、島原市温水プールを整備しました。

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	5	3	学校給食費	329,552千円	273,357千円	418～421

【学校教育課】

○学校給食経費　　210,801千円

児童生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食の充実を図りました。

・消耗品費　11,341千円
・学校給食業務委託料　137,683千円
・学校給食配送業務委託料　14,300千円
・その他委託料　7,171千円
・機械器具費　20,441千円
・学校給食会運営費補助金　19,865千円

購入設置　有明学校給食センター
コンテナ、冷凍庫

(安全及び衛生管理)

項目	内容	実施回数
学校給食施設・設備の点検	学校薬剤師と連携し、給食施設及び設備の点検	年3回（各学期毎）
学校給食施設消毒施工	ねずみ及び衛生害虫の侵入及び発生の防止	年5回
学校給食用食材の定期点検	食材の点検及び殺菌検査	年1回（3納入業者）

(学校給食の充実)

研修会等名	内容	対象
学校給食献立案作成会（毎月）	献立原案について協議	栄養教諭、学校栄養職員
学校給食研究会（毎学期）	食育の取組状況、献立の兼用、学校給食実施上の諸問題	給食研究会長、栄養教諭・学校栄養職員、給食主任

（完全給食実施状況）

名称	第二小 調理場	第三小 調理場	共同調理場	第五小 調理場	有明学校給 食センター
食数	第二小　279 第一中　433	第三小　231 第二中　199 第三中　184	第一小　470 第四小　192 三会小　238 三会中　132	第五小　385	大三東小 263 高野小　66 湯江小　231 有明中　256
年間合計	139,904 食	118,964 食	200,976 食	75,075 食	158,608 食
主食回数	米飯給食　週 3 回、パン給食　週 2 回				

○「おいしくいただきます」子育て応援学校給食費支援事業補助金　　43,531 千円

高騰する食材費の増額分を、給食費の値上げではなく交付金を活用することによって、保護者の金銭的な負担増を回避するとともに、安心安全な学校給食を提供し続けることができた。

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
11	3	3	文化財災害復旧費	2,700 千円	2,677 千円	428～431

【文化財課】

○島原城跡東堀端石垣崩落応急対策事業　　2,677 千円

令和 7 年 8 月の大雨で崩落した島原城跡東堀端石垣について、侵入防止策の設置や土嚢設置等による応急対策工事を行い、市民の安全確保及び更なる崩落防止に努めました。

崩落時（R7.8.11 撮影）

応急対策工事完了後